令和 7 年度第 2 回　運営推進会議議事録
（看護小規模多機能型居宅介護）

事業所名（種別）	「ずいうんホームねりま」（種別：看護小規模多機能型居宅介護）		
所在地	練馬区高松 3-10-8		
開催日時	令和　7 年　7 月　11 日　金曜日　　15：00　　～　15：30		
開催場所	「ずいうんホームねりま」1 階フロア		
出席者内訳	利用者	0 名	
	利用者家族	2 名	0 様奥様・K 様（グループホーム）奥様
	民生委員･町会役員･地域代表	1 名	T 様（近隣住民）
	知見者	0 名	
	練馬区・地域包括支援センター職員	1 名	小山様（介護保険課事業者運営推進係）
	事業所職員	3 名	久保田（管理者）・田中（介護士）・土谷（介護支援専門員）
	その他	0 名	
議題 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	１、はじめに （１）運営推進会議の意義 （２）構成員の紹介 ２、利用者の構成（年齢、要介護度等） ３、活動内容 （１）行事 （２）レクリエーション ４、事故報告・ひやりハット （１）服薬（同姓の取違い） （２）服薬（重複） ５、地域連携の取組み （１）「高松にこにこ会」（高松地域づくりプロジェクト） ６、意見交換		
報告内容 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	２、利用者の構成（年齢、要介護度等） （１）要介護 5：5 名・要介護 4：6 名・要介護 3：1 名 　　要介護 2：2 名・要介護 1：3 名・（合計 18 名） （２）最高齢：93 歳・最年少：77 歳・男女比：1:1 ３、活動内容 （１）行事 ・投票所への同行 （２）レクリエーション ・七夕飾り ※喫茶（6 月 16 日）は感染対策のため中止。次回は、7 月 16 日。 ４、事故報告・ひやりハット （１）服薬（同姓の取違い） ア、発生状況 ・Y.M 様に Y.K 様の薬を服用させようとする。 他の職員の指摘により服用前に気が付く。 イ、再発防止策 ・服薬前の確認は、フルネームで行う。 ・ベッドから起き上がったら、直ちに駆けつける。 （２）服薬重複（1 件）		

	ア、発生状況 ・翌日分の薬を粉砕して飲ませようとしてしまう。 イ、再発防止策 ・服薬前の確認は、日付まで行う。 ５、地域連携の取り組み （１）「高松にこにこ会」（高松地域づくりプロジェクト） ア、令和 7 年 6 月 19 日 14 時 00 分～ （ア）体操 （イ）身体を使った楽しいゲーム イ、令和 7 年 7 月 10 日（木）14 時 00 分～ （ア）みんなで体操！ （イ）「歩容解教室」 （２）児童との触れ合い 学童クラブとの交流。8 月も予定。 ６、意見交換 （１） 0 様奥様 こちらは、デイサービスと違う。家まで訪問をしてくれる。病院の付き添いもしてくれる。地域に密着していると思う。主人は、「通い」の時は、駄々をこねるが、花見など連れて行ってもらって喜んでいた。系列の病院があるのも心強い。 （２）練馬区介護保険課事業者運営推進係　小山様より 今年度から、運営推進係に異動してきた。それまでは、「ねりっこクラブ」などの担当であった。聞いたことが無いイベントをたくさん行っているという印象を持った。これからも続けて欲しい。
出席者からの評価	・介護は、どうやって良いか分からないという不安がある。そんな中で、その気持ちを受け止めてくれる、話を聞いてくれる。とてもありがたい（0 様奥様）。 ・若い職員が高齢者の世話をすることがありがたい（K 様（グループホーム）奥様）。 ・デイサービスの利用は男性が嫌がる。多くのデイサービスは女性が多く、男性は隅に追いやられる。ここは男性が多く通いやすいと思う（T 様）。
要望、意見および助言と事業所の回答	・なかなか受け入れてくれる病院がない。探すのが大変（0 様奥様）。 ←こちらでも協力をして医療機関を探す（久保田）。 ･地域密着を広げてほしい。傾聴ボランティアというのもあると聞いた(T 様) ←これからも、地域の方と関わり合いながら、活動をしていく。先日、児童がユニバーサルデザインの勉強に来た。積極的に協力をしていきた。 ・今後も、ご本人の意思を尊重しながら、生活のお手伝いをしたい。
その他	なし
次回の開催予定	日時：令和　7 年　9 月　11 日　木曜日　15：00　～　16：00 場所：「ずいうんホームねりま」 ※グループホームとの合同開催